

9月24日（火） お昼の放送 校長の話

今日、9月24日から10月3日まで、「静かに放送を聞こう」という放送委員会からの目標があります。放送でも、あいさつや返事をするときは、はっきりする、聞くときは静かに聞くというメリハリをつけましょう。では、まず、あいさつをします。みなさん、こんにちは。元気ですか！？元気があれば、おこのみスパゲティも、もりもり食べられる。

ということで、今日は、校長先生から皆さんにぜひ伝えたいことがあります。うれしくなるお話です。

校長先生は、毎朝、学校のカギを開け閉めしてくださる〇〇さんと一緒に、正門の前で、登校してくるみんなにあいさつをしています。〇〇さんの方が校長先生よりも早く、正門の前に行ってください。

先週の木曜日に、そこに国道2号線の方でみんなの見守りをしてくださっている男性の方が、小学生が落としたかもしれない落とし物を持ってきてくださったそうです。そのこと自体、大変ありがたいことですが、そのときに、その地域の男性の方が次のように言われたそうです。

「最近、大竹小学校のたくさんの子供たちが、大きな声であいさつしてくれて、とてもうれしいです。」

ということです。校長先生は、地域の人からも大竹小学校の子供たちがほめられたことがとてもうれしいです。また、大竹小学校の子供たちが、あいさつで地域の人を、うれしい気持ちにしてくれていることも、校長先生はうれしく思います。

たぶん、地域の人にも、大きな声であいさつができる人は、もう「人に会ったらあいさつをする」という「良い習慣」が身に付いているのだろーと思ひます。「習慣」というのは、「毎日のように繰り返すことによつて、自分できまりのよひになつてゐるもの」といふことだす。「習慣」には、「良い習慣」と「悪い習慣」がひあります。

「あいさつもしない」とか「人にあいさつをされてもあいさつを返さない」といふ「悪い習慣」は、やめてください。家でも学校でも地域でも「人に会ったらあいさつをする」といふ「良い習慣」を身に付けましよう。時と場合によつては、人に会ったら黙つて頭を下げるといふ会釈をしてくれる人もひあります。これもあいさつです。

「あいさつ1つで笑顔が2つ」といふ言葉もひあります。1人が1回あいさつをしたら、本人と相手の2つの笑顔がうまれます。大竹小学校の子供たちの中で100人が1回あいさつをしたら、200この笑顔がうまれます。大竹小学校の全員のひ子供たち653人が1回あいさつをしたら、1306この笑顔がうまれます。653人が2回あいさつをしたら、2612この笑顔がうまれます。10回で13060この笑顔がうまれます。

あいさつで、笑顔いっぱいの大竹小学校、笑顔いっぱいの大竹の地域にできたらいいなと思ひてひいます。